

スコットランド政府、世界最大規模の浮体式洋上風力発電計画を承認

1

11月5日付けAFP News により抜粋。

スコットランド政府は2日、「世界最大規模」となる浮体式洋上風力発電計画を承認したと発表しました。完成すれば1万9000世帯分の電力供給が可能になるという。これはノルウェーのエネルギー大手スタトイル社が、スコットランド北東部ピーターヘッドの沖合25kmの洋上に設置するもので、1基当たりの発電容量が6MWのタービンが計5基を設置される予定です。タービンは浮体構造物の上に設置されるため沿岸からさらに遠い、水深が深い沖合にも設置可能だという。



● 印は英国では珍しい浮体式洋上風力発電設置場所

スタトイル社は声明を発表し、スコットランド北東部の「風の条件は最適」で、石油産業都市アバディーンが近いこともあり、しっかりした原油と天然ガスの供給網もあると述べている。沿岸から離れた沖合にタービンを設置することにはいくつかの利点がある。風力が強く、海岸からは見えないことや、漁業関係者など海を利用する人々にとっても問題が少ないことである。建設工事は来年に開始される予定である。

英国では珍しい浮体式洋上風力発電となるので、ピーターヘッドでの浮体式の実績を重ね、今後は水深の深い場所での洋上風力にも弾みが付くのではと期待される。(了)